

第4節 地産地消プロジェクト

森林・農業地域と市街地のお互いの良さを活かした連携を図り、農林業の活性化・振興を図っています。また地産地消の仕組みをよみがえらせ、生産者と消費者の顔が見える関係を目指します。

【実施事業】

1 月ヶ瀬、都祁地域と都市部との連携

月ヶ瀬、都祁地域と都市部とのふれあいの場として、月ヶ瀬では地域団体が茶摘み体験、こんにゃく作り体験、餅つき大会などを行っており、都祁では都祁まちづくり協議会が農業体験交流事業（田植え、ブルーベリー採り、稲刈り、収穫祭）を行っています。

2 市民ふれあい交流事業

【ミニ直売所】

地場産の新鮮で安心・安全な農産物の消費を促進するとともに、生産者と消費者のふれあい交流を推進するため、平成24年度は、鳥見、富雄、赤膚及び白毫寺の4箇所においてミニ直売所を実施しました。



【彩マーケット】

平成23年度から毎年秋に市役所前広場にて開催している市場で、奈良市産の新鮮で安心・安全な野菜や加工品などを生産者自ら販売していただくことで、都市住民と農村住民のふれあい交流を図るとともに、地産地消の推進を図っています。



【ふれあい交流ファーム】

農村地域において農業従事者からの耕作指導を受けながら農作物を育てる実体験を通して市民間のふれあいを深める場を「ふれあい交流ファーム」として提供しています。



3 学校における地場産農産物の利用

食育の観点から、子どもたちに生産者に対する感謝と食の大切さを学んでもらうとともに、地場産農産物の地域での消費を促進するため、学校給食への奈良県産食材利用を推進しています。平成24年度の奈良県産学校給食食材地産地消率は、34.62%となり、徐々に増加していますが、安全安心の観点からも地元産食材の需要が伸びる中、まとまった量の食材確保がさらに困難な状況となっています。